

令和5年第1回

教育委員会定例会会議録

令和5年1月11日

令和5年第1回教育委員会定例会会議録

令和5年1月11日(水)

出席者(5名)

教育長 貝ノ瀬 滋
委員 櫻井 正治
委員 須藤 金一

委員 畑谷 貴美子
委員 松原 拓郎

欠席者(0名)

出席説明員

教育部長、調整担当部長

伊藤 幸寛

総務課長

宮崎 治

学務課長

久保田 実

指導課長

長谷川 智也

三鷹市立三鷹図書館長

大地 好行

教育部理事(スポーツと文化部調整
担当部長、三鷹中央防災公園・元気
創造プラザ総点検担当部長、生涯学
習課長)

高松 真也

総合教育政策担当部長、教育政策推
進室長

松永 透

総務課施設・教育センター担当課
長、教育政策推進室デジタル活用担
当課長

田島 康義

学務課教育支援担当課長、指導課統
括指導主事、指導課支援教育担当課
長

星野 正人

指導課教育施策担当課長、統括指導
主事、教育政策推進室個別最適化担
当課長

齋藤 将之

指導課指導主事

稲葉 圭亮

教育部参事(スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長)

平山 寛

事務局職員

副参事

青木 涼子

副参事

福島 学

令和5年第1回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和5年1月11日（水）午後3時30分開議

- 日程第1 議案第1号 令和5年度一般会計予算見積書について
- 日程第2 教育長報告

午後3時30分 開会

- 貝ノ瀬教育長 ただいまから令和5年第1回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録の署名委員は、櫻井委員にお願いをいたします。
それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

日程第1 議案第1号 令和5年度一般会計予算見積書について

- 貝ノ瀬教育長 日程第1 議案第1号を議題といたします。

(書記朗読)

- 貝ノ瀬教育長 提案理由の説明をお願いいたします。伊藤教育部長、お願いします。
○伊藤教育部長 それでは、議案第1号 令和5年度一般会計予算見積書についてご説明をさせていただきます。お手元に議案資料がありますので、ごらんいただきたいと思います。

詳細につきましては、先ほどの協議会でご説明をさせていただきましたので、総括的に概要をご説明いたします。

1ページをお開きください。令和5年度歳入歳出予算見積総括表です。これは令和5年1月6日時点の教育部の予算見積額で、職員人件費を除くものとなっております。

表の左側、歳入です。令和5年度の歳入見積りの総額は10億7,291万円で、前年度比7億9,088万円余の増、約3.8倍の予算額となっております。

大幅な増となった要因は、学校給食費の公会計化によるものでございまして、これまでの私費会計から公会計となり、8億3,000万円余が皆増したことによります。単純に、学校給食費の収入を差し引きますと、歳入合計は2億4,200万円余となり、前年度比で約14%の減となります。

この減の主な要因は、教育費国庫補助金7,100万円余の減で、その内訳として、学校施設環境改善交付金が前年度比で5,700万円余の減となったことが挙げられます。

歳入予算の科目別の内訳につきましては、3ページ、4ページに記載していますので、後ほどお目通しいただければと思います。

次に、1ページの右側、歳出です。令和5年度の歳出予算見積りの総額は66億805万円余、前年度比では14億3,874万円余、27.8%の増となっております。歳入同様に学校給食費の影響を除きますと、実質的な額ですけれども、歳出は57億7,700万円余となり、前年度比6億800万円余、11.8%の増となります。

2ページをごらんください。歳出予算見積りの経費内訳です。事項別の詳細は5ページ以降に一覧を掲載しておりますが、この概要につきまして、2ページの経費内訳表でご説明いたします。

初めに、第1項教育総務費です。教育総務費に該当する経費は、教育委員会や事務局の運営に関する経費、学校運営やコミュニティ・スクールに関する経費、また、教育センターの管理、川上郷自然の村に関する経費などとなります。食材費を含めた学校給食費の公会計化による経費もこの項目に含まれます。

項全体では、網かけの2行目になりますけれども、26億7,005万円余となりまして、前年度比11億936万円余、71.1%の増となっております。

増要因としては、学校給食費の公会計化に関する経費9億1,126万円余の増のほか、教育ネットワーク管理運営費が1億149万円の増、総合教育相談室事業費が2,280万円余の増、教育活動支援員等関係費が2,040万円余の増などがあります。

その下の第2項小学校費です。小学校における管理運営、施設の維持補修、保健・給食などに関する経費で、項全体では23億3,263万円余となり、前年度比3,571万円、1.6%の微増となっております。

減要因としては、高山小学校など空調設備改修工事の完了による1億695万円余の減などがありますが、増要因として、学校トイレの洋式化工事で6,213万円余の増、燃料価格の高騰による学校光熱費が6,264万余の増、給食調理業務の新規委託等による学校給食関係費が2,624万円余の増などがあり、全体として微増となっているものです。

次に、第3項中学校費です。中学校における管理運営、施設の維持補修、保健・給食などに関する経費で、項全体では12億3,133万円余となりまして、前年度比2億5,241万円余、25.8%の増となっております。

増要因としては、小学校費と同様に、学校トイレの洋式化で1億7,553万円余の増、燃料価格の高騰等で4,643万円余の増などがあるところです。

その下、第4項生涯学習費です。主に図書館の管理運営などに関する経費で、項全体では3億7,403万円となりまして、前年度比4,125万円余、12.4%の増となっております。

増要因としては、三鷹図書館本館照明器具のLED化や、全館の光熱費の高騰で2,541万円余の増、小学校学級文庫の配送方法の変更等で816万円余の増などが挙げられます。その他につきましては、記載のとおりでございます。

予算見積りに関する説明は以上です。よろしく願いいたします。

○貝ノ瀬教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

先ほど協議会の席で、委員の皆様全員からご質問、ご指摘もいただいておりますので、特段のことはないかとは思いますが、また、再度、お気づきのところでもございましたら、お願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、ご質問、ご意見等なければ採決いたします。

議案第1号 令和5年度一般会計予算見積書については、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 教育長報告

○貝ノ瀬教育長 引き続き、日程第2 教育長報告に入ります。では、総務課からいきましようか。宮崎課長。

○宮崎総務課長　それでは、教育長報告で、まず、4ページをお開けください。ごらんいただいているとおりでございますけれども、12月13日の市議会文教委員会でございますけれども、三鷹市立第五小学校給食調理業務の委託について、それから、学校給食費の公会計化と学校徴収金の一括徴収についてということでご報告させていただきました。

それから、12月15日ですけれども、東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会ということで、櫻井委員にご参加いただき、立川市にある東京グローバルゲートウェイの施設の内覧会ということで、施設を見学したというところでございます。

それから、19日は第四小学校の教育委員会訪問でございまして、皆様、ご参加ありがとうございました。

続きまして、5ページの予定等の報告でございまして。

1月12日になりますけれども、東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会・第2回理事研修会ということでございまして、こちらは畑谷委員にご参加いただく予定となっております。

続きまして、13日は大沢台小学校の教育委員会の学校訪問でございまして。

それから、15日は「みたかの教育」の発行日として、須藤委員にコラムを書いていただきました。ありがとうございました。

それから19日ですけれども、教育委員会と市立小・中学校の保護者代表との教育に関する懇談会が予定されております。皆様、ご参加よろしく願いいたします。

それから、25日は第三小学校の学校訪問でございまして。

26日は定期監査となっております。

私からは以上でございまして。

○貝ノ瀬教育長　ありがとうございました。教育センター、施設、田島課長。

○田島総務課施設・教育センター担当課長　では、6ページ、7ページをお開きください。

学校施設関係の工事につきましては、第五小学校、第二中学校の大規模改修工事は、12月に工事を完了いたしました。それ以外の工事につきましては、記載のとおりでございます。

また、私から本日配付しております新都市再生ビジョンについてご説明をしたいと思います。

令和2年度から策定に向けて取り組んでおりました学校施設長寿命化計画については、新都市再生ビジョンの中で策定することとしておりまして、令和4年12月に新都市再生ビジョンを策定いたしました。

昨年10月4日開催の第10回教育委員会定例会でご説明した内容、ご説明した案に基づいてパブリックコメントを実施した結果、修正内容は、別紙の2番の主な修正内容に記載した内容になりますけれども、学校施設関係の修正についてはありませんでした。10月の定例会でご報告した案から、学校施設関係で修正いたしました点についてご説明いたします。概要版の11ページをお開きください。

10番、主な事業の取り組みというのがございますけれども、この中で、案では三鷹駅南

口中央通り東地区再開発事業、国立天文台周辺のまちづくり、市民センターの再整備の三つでしたが、この三つに加えて、13ページに記載のあります(3)学校施設の整備という項目を追加しています。本冊では89ページから92ページにわたって記載がございます。

この変更は、学校施設の整備につきまして、計画上、主な事業の取組として位置づけたものになります。お配りした計画については、お時間のあるとき、ご確認いただければと思います。今後、この新都市再生ビジョンに基づきまして、適切に学校施設の維持管理を行ってまいります。

私からは以上になります。

○貝ノ瀬教育長 では、学務課行きでしょうか。久保田課長、お願いします。

○久保田学務課長 学務課でございます。資料の8ページ、9ページをごらんください。

まず、8ページでございます。12月19日に、学校保健会役員会を開催いたしました。役員会では、今年の3月に発行いたします「みたかの学校保健」の原稿依頼について、調整、確認を行うとともに、令和5年度の講演会について、子どもたちのネット依存をテーマとした講演会を行うということで決定をしたところでございます。

続きまして、9ページです。1月16日から2月末にかけ、給食調理業務を委託実施しております小・中学校21校におきまして、学校給食運営協議会を開催してまいります。その他、報告事項につきましては、記載のとおりでございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。次に10ページ、11ページの総合教育相談室。星野課長。

○星野学務課教育支援担当課長 総合教育相談室です。行事实績が10ページになります。

12月6日の就学支援委員会では14名の児童・生徒の転学、就学に関わる審議を行いました。

1月10日の就学支援委員会では4名の児童・生徒の、同じように転学、就学に関する審議を行いました。

12月20日の通級支援委員会では24名の児童・生徒の通級に関わる審議を行いました。併せてこの日に東京都から、特別支援教室の運営ガイドラインというものが出されていて、通級の1年間ごとの指導の様子をしっかりと振り返りながら、入っている子が指導目標が達成できたらしっかりと退室をするようにというものが定められたものです。

令和4年12月1日現在で、校内通級教室に通室している子は小学校、中学校全部で482名います。12月20日の通級支援委員会で、通室している児童・生徒の通級の指導の経過等を審議しまして、令和5年度、指導を延長するお子さんが334人、令和4年度をもって退室する児童・生徒が148人ということで、委員のお医者さんの先生方などにも状況を確認していただきながら、このように決定したところです。

退室する子どもたちの主な理由については、学校の卒業を機に退室するというものがほぼ9割以上で、それ以外は、市外に転出だったりとか、指導目標が達成できたのでということでの退室の理由となっているところでございます。

11ページに関しては行事予定になっております。こちら記載のとおり、各種委員会、部会、また、教員の研修会を実施する予定でございます。

総合教育相談室は以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。次、指導課にまいりましょうか、長谷川課長、お願いします。

○長谷川指導課長 指導課、12ページ、13ページをごらんください。

まず、12ページ、行事実績等報告でございますが、12月17日土曜日、デジタル・シティズンシップに係る全学園の熟議ということで、当日の参加者は各学園のCS委員、教員、そして代表の児童・生徒、計約100名が参加いたしました。

講師には、夏休み中に行いました学園内熟議に引き続きまして、青少年メディア研究協会の下田太一先生に講師を務めていただき、「スマホがある生活を考える～よりよい生き方を求めて～」というテーマで熟議を行いました。

そして1月10日火曜日、昨日、小・中学校の始業式を行いまして、現在3学期が始まっております。

13ページ、行事予定等報告でございます。

1月13日金曜日、令和5年度の教育課程の編成に向けた届出説明会を行います。来年度の編成の重点につきましては、後ほど担当からご説明させていただきます。

そして、22日日曜日には、今回で第2回目になります探究カンファレンス in 三鷹を開催いたします。今回は31名の教員が授業公開する予定でございます。

資料といたしまして、当日のチラシを配付させていただきましたが、教育委員の皆様は、事前の申込みは不要でございますので、ご都合がございましたら直接会場である第三小学校にお越しただければ幸いです。

そして、中学校自然教室でございますが、令和2年度は緊急事態宣言、令和3年度は、まん延防止等重点措置のため中止となっておりますが、今回、1月16日月曜日、第五中学校を始めとして、3年ぶりに実施する予定でございます。小学校の自然教室と同様に、感染症対策を施しながら実施する予定でございます。

この後、先ほど申し上げました令和5年度教育課程編成の重点についてと、資料として配付しております体力調査結果報告につきまして、それぞれの担当からご説明させていただきます。

○貝ノ瀬教育長 では、齋藤課長。

○齋藤指導課教育施策担当課長 私から、来年度、令和5年度の教育課程編成の重点についてご説明いたします。本日、机上配付しております、右上に令和5年1月11日教育委員会資料と記載のある令和5年度教育課程編成の重点についてという資料をごらんください。

まず、1ページ目でございます。大きな柱として、「一人ひとりを大切にする教育の実現とスクール・コミュニティの創造・発展」と題し、個人と社会のウェルビーイングの実現のため、「人間力」と「社会力」を主体的に発揮できるよう育むことを目指し、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を柱に、地域との協働による特色ある学園・学

校づくりの推進、児童・生徒の心身の成長や発達段階に応じた体系的な教育を組織的に行うこととして、次の3点を示しております。

1点目の一人ひとりを大切にできる教育では、各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながらか教育活動の充実（カリキュラム・マネジメントの推進）を図ること。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ること。児童・生徒を誰一人取り残さない一人ひとりを大切にできる教育の実現に向け、デジタル技術も適切に活用しながら、「個別最適な学び」と地域人財や地域資源の活用、地域での学びを含む「協働的な学び」の一体的な推進を図ることを示しました。

2点目のスクール・コミュニティの創造・発展では、育成を目指す資質・能力を明確にした教育課程を保護者及び地域と共有し、連携・協働すること。コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の実績と強みを最大限活用し、特色を生かした学園・学校づくりを推進すること。「学校3部制」の「第2部」「第3部」との関連・連携を図りつつ、第1部の充実を図ることを示しております。

3点目の「チーム学園・学校」の推進では、学校のマネジメント力を強化し、組織として教育活動を向上させる体制を構築すること。全ての教職員が児童の権利に関する条約の四つの原則を理解し、連携・協働できる組織風土（雰囲気）や体制を整備することを示しております。

これらを基に2ページから4ページまでに具体的な重点事項として、2ページの2行目よりコミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の推進に係る事項、同じく2ページの下から10行目より知・徳・体の育成の視点に係る事項。3ページの下から同じく13行目より喫緊の教育課題に係る事項の三つの事項に分けて、それぞれの重点事項を四角の枠囲みで示し、その下に具体的な取組等について記載をしております。

最後のページにこれらの概要版として、キーワード等を記載したものを示しております。私からは以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。稲葉指導主事は体力テストの報告ですね。では、稲葉指導主事、お願いします。

○稲葉指導課指導主事 私から、令和4年度東京都児童・生徒体力・運動能力調査の結果についてご報告させていただきます。A3でステープラー留めの資料をごらんいただけたらと思います。

この調査は小学校第1学年から中学校第3学年までの児童・生徒の悉皆調査で、4月から6月末までの期間に実施しているところであります。初めに、全ての学年の調査結果をまとめたものについてご報告させていただきます。

表側は小学校、裏面が中学校、それぞれ上段が男子、下段が女子というふうになっております。種目ごとに、令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響で悉皆調査を行わなかった令和2年度分を除いた3年分の結果を記載しており、前年度と比べて、記録が上回ればオレンジ色の矢印、下回ればグレーの矢印、同じ場合は横線で表示をしております。また、学年ごとに上の段に東京都の平均、下の段に三鷹市の平均を記載しており、東京都の平均を上回ったものについては、黄色で塗り潰しております。

データについては小数第2位を四捨五入して第1位までの数で記載しております。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も参考として記載しております。全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校第5学年と中学校第2学年が対象で、東京都児童・生徒体力・運動能力調査のデータを全国の調査の回答として送付しているところでありま

す。

調査の全体を集計した合計点が一番右の列となっております。合計点を見ますと今年度は小学校全学年、中学校では第1、2学年の女子を除く学年で東京都の平均を下回る結果となりました。種目別では、小学校と中学校では結果が異なっているところがあります。

小学校についてです。20メートルシャトルランでは、第1学年男女を除き全ての学年で令和3年度の記録より上回っているか同じという結果でありました。立ち幅とび及び長座体前屈では、全学年で東京都の平均の記録を下回っております。全体的に令和3年度の記録より下回っている項目が多くなっていることが分かるかと思えます。

中学校についてです。

中学校では、50メートル走では、全ての学年で令和3年度の記録を上回っているか同じ結果でした。ハンドボール投げでは、第3学年の女子を除く学年で令和3年度の記録を上回っているか同じでした。また、第3学年の男女を除く学年で都の平均を上回っております。上体起こしについては第2学年の男女を除き、令和3年度の記録よりも下回っているというような状況でございます。

小・中学校ともに、全体的に令和3年度の記録より下回っている項目が多くあるということになっております。

課題の見られる種目は、小学校では、平成30年度から令和元年度の2年間をかけて、東京都の平均よりも高い学年の多かった反復横とびや立ち幅とびが、令和3年度と同様に、ほぼ全ての学年で東京都の平均を下回りました。反復横とびにおいては、令和3年度の記録より上回る学年が多くなった一方で、立ち幅とびにおいては、令和3年度の記録より下回る学年が多く、より瞬発性や脚力を重点的に改善していく必要があると考えております。中学校では引き続き、握力が課題ですが、50メートル走やハンドボール投げの記録が向上傾向にあります。令和3年度には記録が下がっていた反復横とびについては、記録の伸びが見られたというところの現状になっております。

続きまして、2枚目の資料についてご報告させていただきます。

2枚目の資料は、小学校第6学年と中学校第3学年を取り出したグラフについて、赤いグラフが三鷹市、青いグラフが東京都になっております。また、左側は令和元年度、3年度、4年度それぞれの小学校6年生、中学校3年生の合計点をグラフで示したものです。

都の平均も前回に比べて下がっているところではありますが、それ以上に三鷹市の児童・生徒の下がり方が大きく、小・中学校の男女ともに都の平均を下回っているところでもあります。

右側は、今年の小6、中3の経年変化を示したものになっております。令和2年度調査がなかったため、同じ集団を4年間追跡したグラフになっています。学年が上がっても、東京都との差にそれほど大きな変化はありませんけれども、中学3年生の男女ともに東京

都の差が広がっていつている現状であります。

新型コロナウイルス感染拡大の防止に向けた取組の中で、小学校体育、中学校保健体育科の授業に制限があったことが、体力低下の影響を与えたことは分かりますけれども、三鷹の児童・生徒は東京都と比べるとそれ以上に低下が見られるところであります。各学校ではそれぞれの学校課題を明確に、次年度教育課程に向けて、体力向上の取組を図るよう進めてまいります。

また、今年度、連雀学園三鷹市立第六小学校で、東京都小学校体育研究会研究協力校として研究に取り組んでいるところであります。令和5年2月17日には研究発表を開催いたしますので、研究の成果の共有を図るとともに児童・生徒の体力向上を図ってまいりたいと考えております。

以上になります。

○長谷川指導課長 指導課は以上になります。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。続きまして、教育政策推進室、松永部長。

○松永総合教育政策担当部長 それでは、本冊の14ページ、15ページをごらんください。報告ですけれども、基本的に記載のとおりでございます。

12月22日に、三鷹市のスクール・コミュニティ推進員の皆さんの視察研修ということで、横浜市の東山田中学校にあります東山田コミュニティハウスに視察に行っていました。

そちらでは、学校の中にコミュニティハウスというのがあって、そこを拠点にしながら活動されている、いわゆる地域学校協働活動をされている方々と交流をしながら、新しい視点をいただいてきて、これからのコモンズとしての学校の在り方といったところに生かせる視点をいただいてまいりました。

それから、今後の予定になりますけれども、15ページになります。基本的に記載のとおりですけれども、この1月、2月のコミュニティ・スクール委員会というのは、次年度の様々な教育課程等の部分についてもここで議論がなされて、今年度の実績を基にしながら、どう改善していくのかといったことがコミュニティ・スクール委員会の中で議論され、そして、完成版に向かっていくということがここでなされてまいります。

30日の三鷹のこれからの教育を考えるワークショップ、ワークショップとしては最終回になるんですけれども、ここで一定の提言まとめをしていきます。また、記載はございませんけれども、2月14日、午後2時30分から政策提言の発表を大研修室で行います。ご都合がよろしければ教育委員の皆様にもぜひご参加いただければと思っております。

また、政策提言の発表をした後に、コロナの感染状況もあるんですけれども、できましたらちよっとお茶を飲みながら、皆様とも先生方と交流、意見交換ができるような場面が持てればと考えているところです。準備をさせていただきます。

それからもう1点、記載はございませんけれども、平成26年度に連雀学園から始まって、いわゆる地域学校協働活動、学校支援の活動等含めて、文部科学大臣表彰を受賞してまいりました。

平成26年度に連雀学園、27年度に三鷹中央学園、28年度に鷹南学園、1年空いて

30年度におおさわ学園、令和元年度に東三鷹学園、令和2年度に三鷹の森学園ということで、受賞してきたんですけども、いよいよ最後、7学園目ということで、にしみたか学園がここで令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を2月3日の日に受賞するという事で連絡がございました。非常によく頑張ってくださっているメンバーの方々なので、この度の受賞はとても励みになるのかなと思っております。そのことを報告させていただきます。

以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。続きまして、図書館、大地館長。

○大地三鷹図書館長 そうしましたら、16ページをお開きください。実績でございます。

12月6日から11日まで展示でございますが、心のバリアフリー展ということで実施させていただきました。また、12月13日から25日まで、連雀学園しおりコンテストの結果を図書館の本館で展示させていただいております。

また、その後でございますが、1月7日、「わん！だふる読書体験」を、こちらもつつがなく終了しております。

17ページの予定でございますが、1月6日から30日まで第三小学校の4年生による「本をみんなにすすめよう」作品展示ということで展示をさせていただいております。また、1月10日から「神沢利子さんのおくりもの展」ということで、29日まで2階の展示ホールで展示をさせていただいております。

また、イベントですが、1月29日に神沢利子さんお誕生日映画会ということで、映画会を開催させていただいております。

私からは以上です。

○貝ノ瀬教育長 最後になりましたが、スポーツと文化部、高松部長。

○高松教育部理事 それでは、スポーツと文化部より、まず、文化、生涯学習の関係について私からご報告いたします。

18ページの中ほどになります。昨年12月12日から本年の2月21日までの間、大沢の里水車経営農家につきまして、水車小屋の耐震補強工事に伴い、現在臨時休館をしております。なお、大沢の里古民家については、通常どおり開館をさせていただいております。

続きまして、本年の1月5日から23日までということで、毎年テーマを設定しまして開催をしております考古学展示会について、今回は「三鷹12万年史ー海と陸の変遷とヒトの暮らし」と題しまして、市役所本庁舎1階のホールで開催をしております。本日席上にチラシを配付させていただいておりますので、ごらんください。

地球規模の温暖化や寒冷化が長期的なサイクルで繰り返されてきて、それに伴い、海面も上昇、また、低くなったりということが繰り返されてきたところです。

約12万年前の海進時、海面の上昇時には、現在の三鷹市域の一部と23区のほとんどに海が広がっていたとされております。三鷹を含む武蔵野台地の過去12万年間の自然環境の変遷の過程、また、人の暮らしの変遷を地形の再現図、ボーリング調査で採取をし

したおおよそ12万年前の地層のサンプル、市内遺跡から出土した縄文土器などによりまして、ビジュアルにたどる展示会となっております。

チラシの裏面をごらんいただきますと、こちら1月14日土曜日に開催をします同名の講演会のチラシになっているのですが、上に掲載している図がおおよそ12万年前の推定海岸線を表しております。三鷹市を中心に、東側から俯瞰した図となっております。中ほどに三鷹市域を表示しておりますので、市域の一部が海になっていたというような状況が見てお分かりいただけるかと思えます。

こちらの考古学展示会ですが、1月23日月曜日の午前中まで、本庁舎1階のホールで開催をしております。ぜひごらんいただけますとありがたいと思います。

続きまして、本冊の19ページの中ほどになります。1月21日、22日に第35回多摩郷土誌フェアを立川市の女性総合センター・アイムで開催いたします。多摩地域の22の市と町が参加をしまして、歴史や文化財関係の書籍を一堂に集めて展示販売を行うという郷土誌フェアになります。この間、コロナ感染拡大の影響もありまして、3年ぶりの開催となっております。

私からは以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。平山課長。

○平山教育部参事 スポーツ推進課の平山です。行事实績等報告、18ページの中ほどでございます。12月14日からトップアスリートによるバレーボール教室ということで、小学校の3年生から6年生を対象に、三鷹在住で元日本代表の大澤洋美さん、狩野美雪さんに教室を開催していただいております。25人参加で5回を連続して体験いただきます。

24日でございますけれども、JAPAN RUGBY LEAGUE ONEでございます。東芝の開幕戦に市民招待ということで、300人の定員でございます。300人を上回る応募がありましたけれども、当日は181人のご来場でございました。資料にございませんけれども、1月5日に日本スポーツ賞優秀選手賞を受賞しました三鷹市出身トライアスロンの高橋侑子選手が、市長を訪問いたしまして、パリオリンピックに向けて、新たに抱負を話していただきました。また、海外のシリーズに出かけられたということでございます。

今後の予定でございますけれども、1月14日土曜日、こちらは車いすバスケットボール体験会ということで、三鷹市の第三中学校出身で、三鷹市の職員でもあります日本代表の石川優衣選手が所属します東京ファイターズB.Cというチームに、小学校4年生、5年生、6年生を対象に30人単位で募集しましたところ、今26人のご応募をいただいております。体験会を実施する予定でございます。

また、資料にございませんけれども、同じ1月14日に、2月19日に開催されます小学生ソフトバレーボール交流大会の監督会議を実施いたします。こちら18チームのご参加の応募がありまして、小学校からは、15校のうち8校の学校から18チームのご応募をいただいているところでございます。

以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

以上で報告が終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。松原委員、お願いいたします。

○松原委員 ありがとうございます。14ページですけれども、スクール・コミュニティ推進員連絡会で視察されたその東山田コミュニティハウスについて、もうちょっとだけ詳しく教えていただければと思います。

○貝ノ瀬教育長 松永部長。

○松永総合教育政策担当部長 学校の中に、すぐちよつと行くと職員室だというところにコミュニティハウスとしてあります。その中では、いわゆる公民館的な形のものとして使われているところもあるんですけども、地域の皆さん、市民の皆さんが、そこでお茶を飲んで過ごしたりとか、それから地域の方々が物品を販売ができるような棚を用意して、そこで無人販売ができたとか、実際行かれた方の中では野菜を買って帰ってこられる推進員の方もいらっしゃいましたけれども、そんな形で市民の皆さんが、交流ができるようなスペースがあるといったところです。

また、その中にはいわゆるミニ図書館のような形で書籍が置いてあって、そこで読書ができたり、あるいは地域の子どもたちがお母さんと一緒に来たりとかということで、会場が中学校にあるといったことで、小さい子どもたちが割と普通に日常的に学校の中にいるというのは、また、普通の中学校と少し違った形の雰囲気醸し出しているようなところがあるなと思いました。

そんなところで、地域と中学生との様々な交流をそこを拠点にいろいろできている中で、そこで学校の先生方とも地域の皆さんといろいろなことを話をする機会がだんだん出てきて、学校のリクエスト、こういうことを今力を入れたいんだけどといったことに、地域の皆さんが様々な形で、いわゆるコミュニティ・スクールですから、様々な取組と一緒にやってくださっているわけですけれども、そんなところが非常に充実をしてきていいということで、様々知恵袋の方が中にいらっしゃいますので、コミュニティ・スクールのマイスターをやられている方ともずっと関わっていらしたところなので、いろいろなアイデアの中で、様々な取組をしているといったことを実際に見させていただいてまいりました。

以上です。

○松原委員 ありがとうございます。

○貝ノ瀬教育長 松原委員、何かありますか。

○松原委員 これは例えば学校の先生方はどういうふうに関わっているんですか。

○松永総合教育政策担当部長 ちょうど私たちが行ったときは、いわゆる授業中の時間帯だったので、具体的に先生方がそこに入ってきてということはなかったんですけども、聞いた話では、放課後などもそこで地域の方と話ができたりとか、いわゆるコミュニティ・スクールの方々も割と頻繁にいらっしゃるということもあって、様々な学校に関する話なんかも随分とできるようになったということです。

ただ、やっぱり校長先生のスタンスみたいなのがとても如実に表れているかなと思っていて、今の校長先生は、教員としてもそこにいて一緒に育っていった方が今校長で戻られているということで、大分またすごく活性化されてきたというような形のことが出て

いました。

○松原委員 基本的に敷地内にあるので、別に意識しなくてもそこに自然に先生もいるといった感じで、自然な関わりが生まれているというそんなイメージですか。

○松永総合教育政策担当部長 そうですね。

○松原委員 ありがとうございます。

○貝ノ瀬教育長 よろしいですか。ほかの委員の方はいかがですか。

○須藤委員 体力の体力結果、運動の調査結果のところ、全体的に令和3年度から下回ってしまっているということなんですけれども、対策としてここに書かれていたんですが、小・中学校連携した取組を行っていくということだったんですけれども、確かにその中学校には専門の先生がいらっしゃって、その専門性を生かして取組を推進されていくということなんです。今までは、特にそういったような中学校の先生が実際に小学校に出向いて、そういった体力的な指導を教員の先生方に共有するとか、そういったことというのは今までは特に行われていなかったということなんでしょうか。

○貝ノ瀬教育長 稲葉指導主事。

○稲葉指導課指導主事 現状としては、中学校の先生が、体育の先生が直接学校に出向いて、児童に専門的な技術であったりとか運動のことについてやっていくというのはみんなやっていないと言えるかなと思っています。ただ、乗り入れ授業で、体育科の先生が小学校に出向いて、ティーム・ティーチングのような形で子どもたちの運動能力、体育の授業先生として一緒に関わってというような事例は過去にもあるんですけれども、この体力向上に向けた視点でいくと、中学校の先生が小学校にというのが今のところないかなと思います。

○須藤委員 分かりました。今はそうやって中学校の先生が小学校に出向くというのは非常にいいなと思いましたし、さらにタブレット端末とかも今導入されているので、例えば家庭で簡単にできるような運動みたいのを動画とかでアップしてくれるとか、そういったような活用の仕方も今タブレット端末があるのでできるのかなと思ったので、いろいろと積極的に子どもたちの体力アップに、ぜひ教育の面からもサポートしていただきたいなと思いました。

○貝ノ瀬教育長 稲葉指導主事。

○稲葉指導課指導主事 ありがとうございます。動画に関してですけれども、新型コロナウイルスの蔓延で、休校と分散登校になった際に、先生たちが動画を撮って運動やダンスとかを家庭でやってもらいたいというようなことで配信している学校も多くありましたし、そういった事例も今結構上がってきています。また、今学習動画の作成を行っているんですけれども、それも体育の動きについて基礎的な部分から発展的な部分という形で、今、動画の作成を体育だけではないんですけれども、各教科で行っているの、そのようなところで活用していきたいなと考えております。

○須藤委員 よろしくお願ひします。

○貝ノ瀬教育長 体力低下というのはゆゆしき問題ですけれども、稲葉指導主事の話を知っていると体育の授業、それから、スポーツとしての体力づくりで、あともう一つは、

遊びというのものもあるんじゃないですかね。稲葉指導主事、その辺どうですか。

○稲葉指導課指導主事 一つ事例を挙げますと、反復横とびの結果なんですけれども、平成30年度と令和元年度は、かなり都よりも平均が高かったんですが、令和3年度になると全部その数字が下がっている現状があって、この瞬発力というところでいくと、日常的なごっこ遊びとか、いわゆる鬼ごっこみたいなものが遊びの中で日常的に蓄えられていくという現状があって、それがここでもたつと落ちていくことというのは、やっぱり休みに積極的に外に出る子が少なくなっていたりとか、または放課後の校庭開放の際に、家庭がどんどん行っておいでとならずにすごく少なくなった現状があったというところていくと、その遊びというところについてはすごく大きなポイントかなと思っておりまして、これも校長会等を含めて、学校でも休み時間含め放課後遊びについても、どんどん促していっただけのような形でお知らせしたいなというふうには考えているところでありませう。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。お話のとおり、コロナ禍で非常に活動や行動が制限されたということもあると思いますけれども、それだけではちょっと説明がつかないですよ。やはり日常的に人とのつながりの中で遊んだり、いろいろなごっこ遊び、ゲームとかというのが非常にやっぱり減ってきているということは事実でしょうね。今の子どもたちの生活のスタイルがやっぱり変わってきているということなんでしょうね。

ですから、その辺よく昔は頭でっかちなんていうようなことで、勉強ばかりとかいうふうなことでもないでしょうけれども、やはりもっと遊びの価値とか効用というものももっと復活しなきゃいけないんじゃないかなと思いますよね。この辺は校長会を通じて話し合いたいと思っています。ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがでしょうか。櫻井委員。

○櫻井委員 学務課のご報告の中で、学校保健会のところで、子どもたちのネット依存についての講演会をされたということなんですけど、子どもたちのネット依存というのは、いろいろなところで今言われているところでもありますけども、その講演会で何かトピックスとか、私たちが知っておいたほうがいいようなことというのは何かありましたでしょうか。

○貝ノ瀬教育長 久保田課長。

○久保田学務課長 講演会につきましては令和5年度開催ですので、そのテーマを決めるため役員会を行いました。校医であります土屋先生から、久里浜病院の元院長の樋口先生というお医者様、子どもたちのネット依存の関係で有識であるということで、ご紹介いただきまして、今、その先生と連絡を取りながら、子どもたちのネット依存についての講演を行っていただけるよう、調整をしているところでございます。

○櫻井委員 次年度に講演するということでしたか。ありがとうございます。

○貝ノ瀬教育長 畑谷委員、いいですか。

○畑谷委員 総務課の12月15日に、東京都市町村教育委員会連合会の第4ブロック研修会で行った東京グローバルゲートウェイは、立川に新しくできた施設のの一つですよ。私、行きたかったんですけども、ちょっとその日行けなかったんですけど、四、五年前で

しょうか、有明の施設にも行ったんですけれども、そこと比べてどういう感じなんでしょう。そして、三鷹市として、これを活用するというような意向があるんでしょうか。私、有明の施設を見学したときにすごくいいなと思ったので、ぜひぜひ市でも活用ができればと思ったんですけれども。

○貝ノ瀬教育長 宮崎課長、どうぞ。

○宮崎総務課長 実はさっきもお話ししたように、内覧会ということで施設見学のみでしたので。

○畑谷委員 研修会の時点では運用はまだできていない状態だったのですか。

○宮崎総務課長 施設はとてもいいきれいな施設で、ICTを活用した画像とか、いろいろなふうにできるということで、多分相当違ったもの、雰囲気というかになっていると思うんですが、実際の運用部分は別にその説明はあったんですけれども、体験的なものは今回の研修会では何もありませんでした。

○畑谷委員 実際の運用は令和5年からでしたか。

○宮崎総務課長 そうですね。

○貝ノ瀬教育長 施設は立派だったんでしょう。

○宮崎総務課長 そうですね、とてもきれいで画像があったんですけれども、実際はちょっと平面的な画像といいますか。

○櫻井委員 私と行ったんですが、私、質問じゃなくて意見を言わせてもらったんですけれども、今の子どもたち、かなりいろいろなもので画像に慣れていますし、それこそ自分で画像をつくったりできる子もいますよね。例えばある部屋で、真っ白の周りにコンビニエンスストアや薬局といった画像を映して、そこでどういうふうに英語で会話するかという状況にするという感じでやるらしいんですけれども、その画像のクオリティが低いなって思っちゃったんですよ。

○宮崎総務課長 何かリアルさに欠けて。

○櫻井委員 リアルさに欠けて、変な人が動いていたりとかで、もう少しリアルな画像はできないのと思ったぐらいなんです。これでは、子どもたちがあんまりその場にいるような雰囲気を感じないんじゃないかな、何か絵を見ているような感じでと言っちゃったんですね。

○宮崎総務課長 そのとおりでした。

○櫻井委員 でも、ほんとうにそうでしたよね。

○畑谷委員 有明の場合は、現場をぐっと凝縮した感じでもうすごくリアル感があって、実体験がすごく伴える感じだったので、ぜひ三鷹の中学生も行ったらいいなと思ったぐらいなんです。

○櫻井委員 内容というか、ほんとうにそれをちゃんと活用したら、三鷹の生徒さんたちも活用されたらいいなというようなお話はされていました。

○畑谷委員 そうなんですか。これを利用する場合、都民としてと、23区以外のこっち側でもいいんですが、優先的に利用できるとか、本来はもうちょっと結構お金がかかるところを、教育委員会を通したら少し安くなるとか、利用しやすいような条件とかという

のではないのでしょうか。

○貝ノ瀬教育長　　そういうのは何か聞いていますか。特段の優待はないですね。長谷川課長。

○長谷川指導課長　　特に優待をするなど具体的なことは聞いておりません。東京都としては、青海の施設をブルーオーシャン、立川をグリーンスプリングという名称でTGGをすみ分けしておりますが、青海の施設は現物を想定した施設がありますが、立川の施設はバーチャルということで、先ほど櫻井委員がおっしゃったとおり、各自治体においても様々な意見があるということをご昨日の室課長会でも聞いています。

立川の施設は16日の月曜日からオープンすると聞いていますが、三鷹市としては小学校で行けるよう、予算措置しているところです。

○貝ノ瀬教育長　　何たって遠いので、そう頻繁に行くというわけにいかないですよ。そのうちいろいろ要望とか指摘もされて、東京都もいろいろ柔軟に考えてくれるんじゃないでしょうか。それをご期待したいと思います。

では、以上をもちまして、令和5年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。お疲れさまでした。

午後4時28分 閉会